

全国拠点でBCP訓練

自然災害念頭に意識啓発

大成ロテック

大成ロテックは9日、親会社の大成建設が実施したBCP（事業継続計画）にグループ会社として参加し、冬季休日の午前6時に都心南部で地震が発生したとの想定で、全国の拠点でBCP訓練を実施した。同社社員のほか、グループ会社のポルタント、泰明工業、京丹建設の社員も含め1625人が参加した。



訓練では、災害対策本部となる東京・新宿区の本社に障害が発生したとの想定で、従来の鴻巣研修センターに加え、新たにさいたま市にある北関東支社を代替拠点と定め、2か所での立ち上げを行い、そのうち、北関東支社より社員、社員家族の安否確認、全国の拠点とTV会議システムを用いて通信確認を行い、初動体制が取れることを確認した。

その後、災害対策本部を本社に移し、▽グループ会社とのTV会議システムを用いた連携訓練Ⅱ写真Ⅱ▽主要事務所における拠点機能確保等訓練▽災害用備蓄資機材の供給訓練▽被災拠点からの

支援要請対応訓練▽災害協定得意先からの支援要請対応訓練等を行った。

また今年、本社内勤者を対象に「災害時の自助・共助の重要性」についてのセミナーおよび「AEDによる蘇生訓練」を行い、その後、公共交通機関等が不通となったことを想定し自宅に向けた徒歩帰宅訓練を実施し、昨今頻発する地震以外の自然災害を念頭に社員の意識啓発を行った。

訓練後の講評で、西田義則社長は「当社は日本道路建設業協会会長社であるとともに日本建設業連合会の理事会社であり、さらに日建連会長会社の大成建設のグループ会社であることを念頭に有事の際には迅速に対応できるように準備して欲しい」と話した。